

「宿泊業による“安心衛生”サミット」 衛生管理徹底で開催！！

2020.3.31 ほてる木の芽坂

# NEWS LETTER



## 「塩沢信用組合」「日本政策金融公庫」「新潟県信用保証協会」 三機関が連携強化！！



### 暖冬・新型コロナ事態収束長引く 地域事業者資金繰り支援急務！

暖冬から続く新型コロナウイルスの影響で地域経済へのダメージは大きく、事業者の資金繰り支援は急務となっている。

日本政策金融公庫の設けた相談窓口は相談が増え続けており、融資の申込件数もなんと前年の9倍近くまで増加している。

相談から実行までのスピーディーな対応が求められる今、三機関が連携を今まで以上に強固なものにすると宣言した。

今後は塩沢信用組合が得意としている「事業性評価」を上手く活用し、三機関の連携を図りながら地域事業者の支援を急ぐ。

塩沢信用組合  
理事長

小野澤 一成

日本政策金融公庫  
長岡支店長

横田 剛 様

新潟県信用保証協会  
長岡支店長

清水 晶 様

## 衛生メニューを紹介!!

塩沢信用組合とほてる木の芽坂が考案し、実施している衛生メニューがスライドで紹介された。その後、実際に宿泊した塩沢信用組合の職員が追加で指摘した。参加者からは、「この新型コロナの感染拡大防止には施設管理は必出事項。他の宿泊業者の取組事例が拝見でき、参考になった」という声が上がった。



## 参加者による意見交換実施!!

意見交換では、独自の取組などが紹介された他、この事態に負けることなく地域が一丸となることも呼びかけられた。長引く経済停滞に宿泊業者の傷はさらに深くなっている。「地域と運命共同体」を掲げる塩沢信用組合の多角的支援が地域には必要不可欠となっている。

この未曾有の事態を一丸となって乗り切る決意を固めた！！